

地島っ子通信は、原則、週1で更新します。学校日より同様、地島小学校のHPから見る事ができます。

島のみなさまに支えられて～除草作業～



雨天のため延期していたPTA除草を、5月19日に実施しました。子供たちや教職員が学校に到着した時には、多数の島のみなさんがすでに作業をしておられました。運動場の草も学校のフェンスの内外も、みるみるうちにきれいになりました。子供たちは、一生懸命に刈り取った草を運ぶお手伝いをしました。9時半ごろいったん作業を中断し、子供たちは、島の方々に自己紹介をし、お礼の言葉を述べました。

この日の昼休み、きれいになった運動場で、子供たちは秋の運動会に向けて、さっそく一輪車の練習をしていました。朝早くから、参加して下さった島のみなさま、保護者の皆様ありがとうございました。

遠隔授業～地島小・玄海小・玄海東小～



5月20日(木) ネット回線を使い、地島小学校・玄海小学校・玄海東小学校の1年生が交流学习をしました。画面には、3つの学校の1年1組が映っています。画面を見ながら自己紹介をしたり、ほかの学校のお友達に尋ねたり、答えたりしました。吏玖さんも、大きな声で他校の1年生と話をしていました。今後は他の学年でも実施していきます。

気づき、考え、実行する

5月14日(金) 青少年赤十字加盟更新式を行いました。地島小学校は、青少年赤十字に加盟しています。そして、毎年、その目的を再確認する意味を含めて、更新式を行っています。本来でしたら、青少年赤十字の方に来校していただくのですが、このコロナ禍のため、オンラインでの更新式を行いました。

多くの子供たちが、Zoomを使った双方向同時通信が初めてでしたが、さすがは現代っ子です。あまり違和感もなく、自然にこの状態を受け入れていました。

緒方さんは手話を使ってあいさつをしました。そして、子供たちに「おはようございます」の手話を教えてくださいました。テレビ画面に大きく映る緒方さんをまねて、子供たちも「おはようございます」の手話を覚えました。



その後、緒方さんが質問をしました。「世界が100人の村だったら、そのうちの26人が子供たちです。26人のうち、毎日ご飯を食べて元気に過ごし、学校で勉強をしている子供は何人でしょう?」と。答えはたったの5人でした。衣食住・教育・健康などがあたりまえではない子供たちがいることを知りました。

緒方さんは、このような世界の状況を、少しでもかえるために、青少年赤十字は、「健康・安全」「奉仕」「国際理解・親善」を目標に活動しているということを話してくださいました。

残りの21人の子供たちは、病気・紛争・災害・貧困に苦しんでいる子供たちでした。

冒頭の「気づき・考え・実行する」は、この目標を達成するための青少年赤十字が目指している態度です。まず、困っている人に気づくこと。次に、なぜ困っているのだろう、何が必要だろうと考えること。そして、困らないようにするために自分ができることをするという事です。気づいて考えるだけでなく、行動に移すことを青少年赤十字はとても重視しています。地島小学校の子供たちにも、生活の中でこの態度を身に付け、ぜひ、行動する人になってほしいと考え、青少年赤十字に加盟しています。

